



「和解の務め」音信

Ministry of Reconciliation in South Africa

(22-1)

Jun. 2022

金煥・朴貞玉

「神は、キリストによって私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに与えてくださいました。」(Ⅱコリント 5:18)



草を食べる羊たち



クリスマス洗礼式

新しい年に、三位一体の神の祝福が宣教同労者の皆さまに豊かに臨まれることをお祈り申し上げます。昨年もお支えくださり、お祈りしただけでなく、皆さまに心より感謝申し上げます。昨年主の哀れみと恵みの中で和解の務めは進展してまいりました。

1. 昨年の回顧

昨年はハードウェアの構築に励んだ1年だったと思います。

3月中旬から6月中旬までは宣教農場の住宅改修作業に力を注ぎました。改修中、住宅の屋根に太陽光発電システムを設置しました。6月中旬から8月半ばまでは既存の倉庫を改修してチャペルを造り上げました。質素なチャペルでしたが8月22日「和解の宣教集会・ポチエフストロム」の初の礼拝をそこで捧げることができました。その間、「イエスの小さいしもべたち」と呼ばれる宣教献身者たちの共同生活が始まりました。そして年末ごろ質素な鶏舎と羊の囲いを造り、鶏15羽、羊11頭、山羊1頭を飼育し始めました。そしてまだ未完成ですが、作業室、屋外トイレとシャワールームを造りました。このように去年は目に見える形の、建物や飼育場、いわばハードウェアを備えるのに忙しい1年でした。

2. 今年の展望

今年は昨年のハードウェアを生かして幾つかの活動をする予定です。始めは青少年たちのための「新しい生活セミナー」(New Life Seminar)です。聖書の基本真理を含めて聖書的な人生観・価値観を学習するように、7人前後の青少年たちと1カ月間寝食を共にし、午前は理論、午後は実践、夜は振り返りを行うセミナーです。宣教団体 WAM の弟子訓練学校(DTS)とグルントビ―牧師の国民高等学校(TESS)の縮小形に似ています。

次は、**聖書・宣教学校**です。これは牧会者を育てる神学校ではなく、信徒たちをその教会と地域社会で役に立てるように、聖書を学び、宣教マインドを身につけるよう助ける学校です。

もう一つは**牧会者セミナー**です。南アフリカには十分な訓練を受けず牧師になっている人々が多くいます。

彼らはキリスト教と伝統的な祖先崇拜、成功・祝福主義を交えた教えを伝える傾向が強くありますので、そのような牧会者たちを招いて3泊4日、健全な牧会の在り方を学べるように助けたいと思います。今年9月ごろ行う予定です。

3. 祈禱課題

以上のことを踏まえて祈禱課題を申し上げますので、宜しくお祈りいたします。

- ① 上記3つの課題が良く準備され、順調に実行できるように。
 - ② しもべたち夫婦の霊肉の健康が保たれ、聖霊に満たされ、忠実な奉仕ができるように。
 - ③ 南アフリカ宣教に召しを受け、方々が起こされるように。
- 最後に、宣教同労者の皆さまに主の平安が豊かに臨まれることをお祈りいたします。